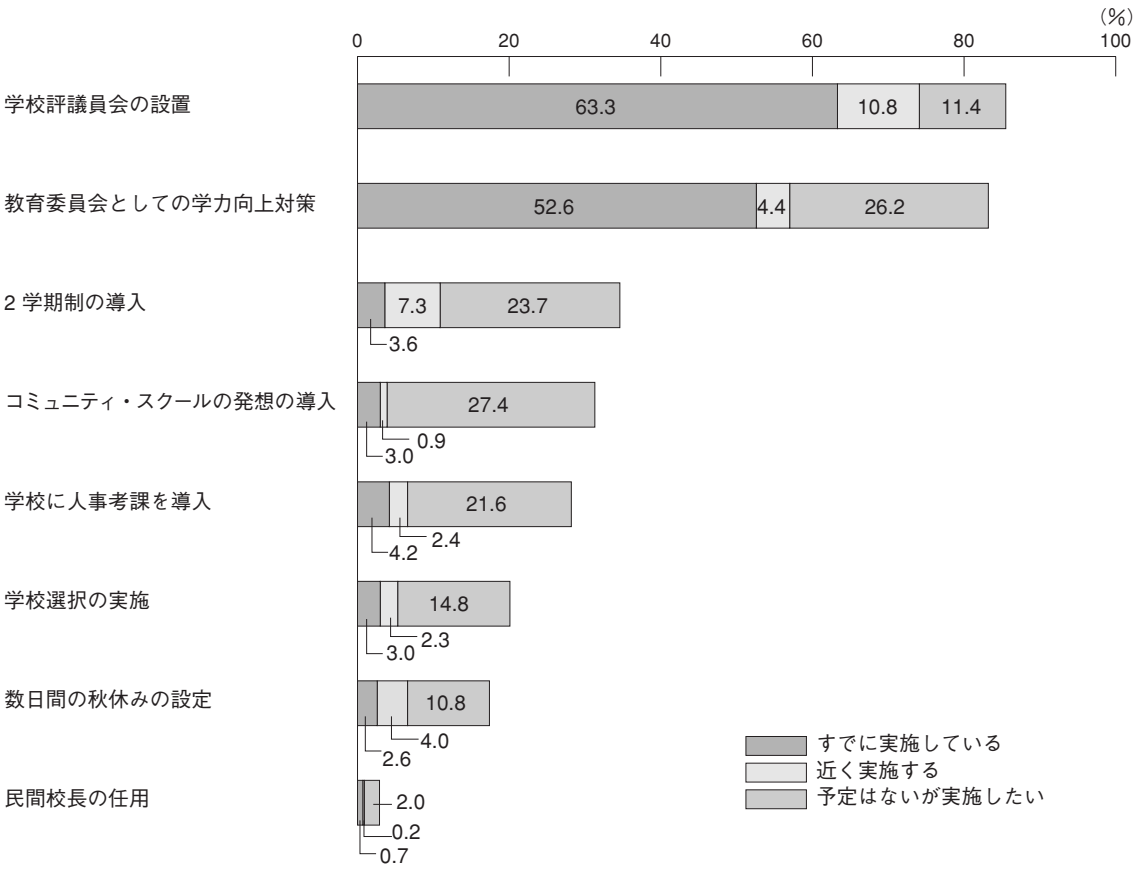
1 教育改革の実施状況

問1 あなたの市区町村では、次のようなことを実施していますか。



この設問は、市区町村での教育改革の実施状況について調査したものである。

「すでに実施している」、および今後の実施の意向を示す「近く実施する」「予定はないが実施したい」という回答の合計（以下同じ）は、「学校評議員会の設置」（85.5%）、「教育委員会としての学力向上対策」（83.2%）の項目で高いことがわかった。一方、「2学期制の導入」（34.6%）、「コミュニティ・スクールの発想の導入」（31.3%）、「学校に人事考課を導入」（28.2%）、「学校選択の実施」（20.1%）は、2～3割となっている。「数日間の秋休みの設定」（17.4%）は2割を切り、「民間校長の任用」（2.9%）は、低い結果となっている。

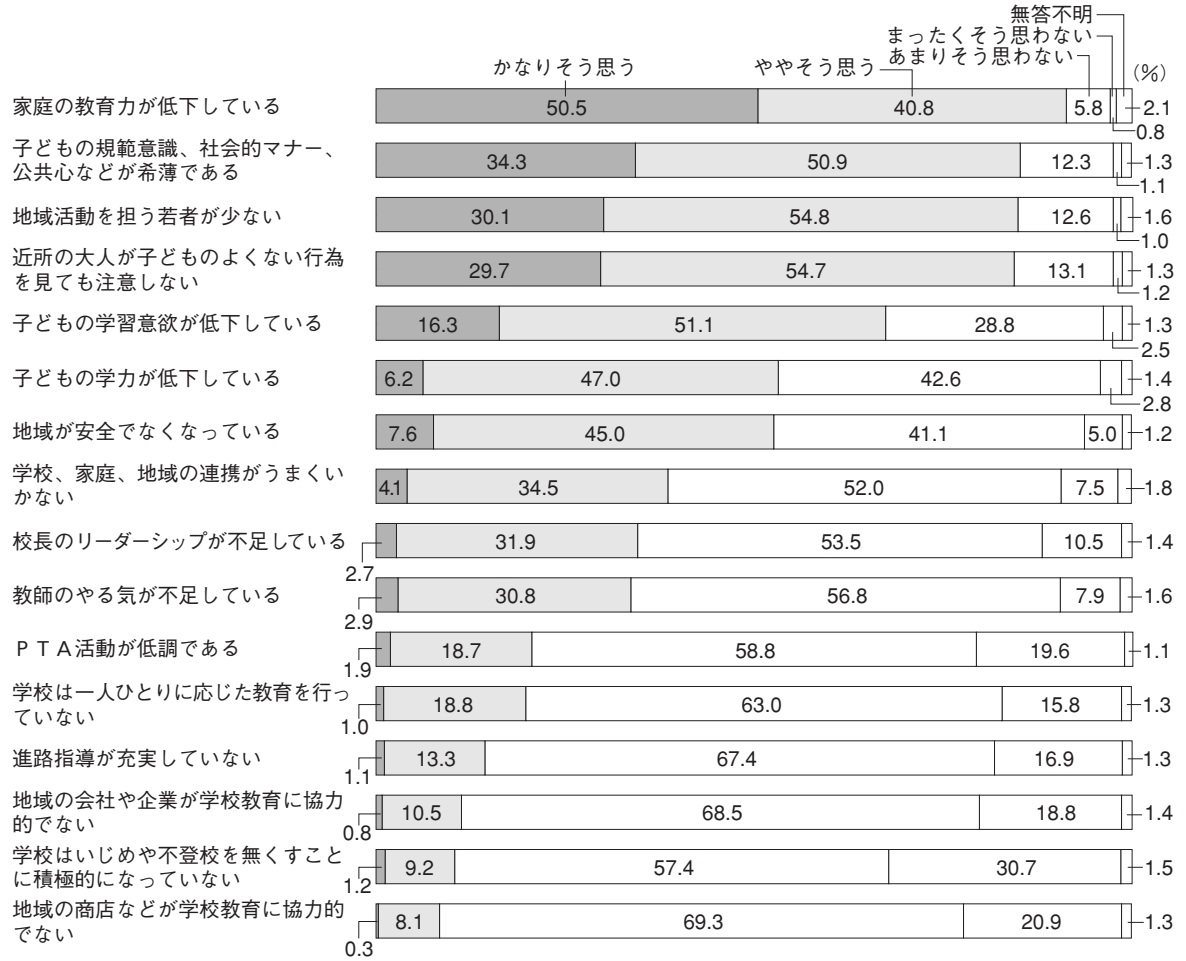
「学校評議員会の設置」「教育委員会としての学力向上対策」の2項目は、「すでに実施している」だけでもそれぞれ63.3%、52.6%であり、文部科学省の政策などにより、かなり実施されていることが示されている。

また、近年一部の自治体で実施され始めた「2学期制の導入」は、「予定はないが実施したい」が2割を超えており、一定の関心が寄せられていることがわかる。「コミュニティ・スクールの発想の導入」「学校に人事考課を導入」の項目でも同様に関心が高まりつつある傾向がみられる。

とくに都市部を中心として広がっている「学校選択の実施」については、全体で20.1%が実施中、もしくは今後の実施の意向を示した。しかし、その多くが2万人以上の人口の多い自治体の回答であり、人口規模によって差がでている（巻末基礎集計表参照）。

2 最近の教育の状況に対する意識

問2 次のような最近の教育の状況について、あなたはどう思いますか。



この設問は、最近の教育の状況に対する意識を調査したものである。

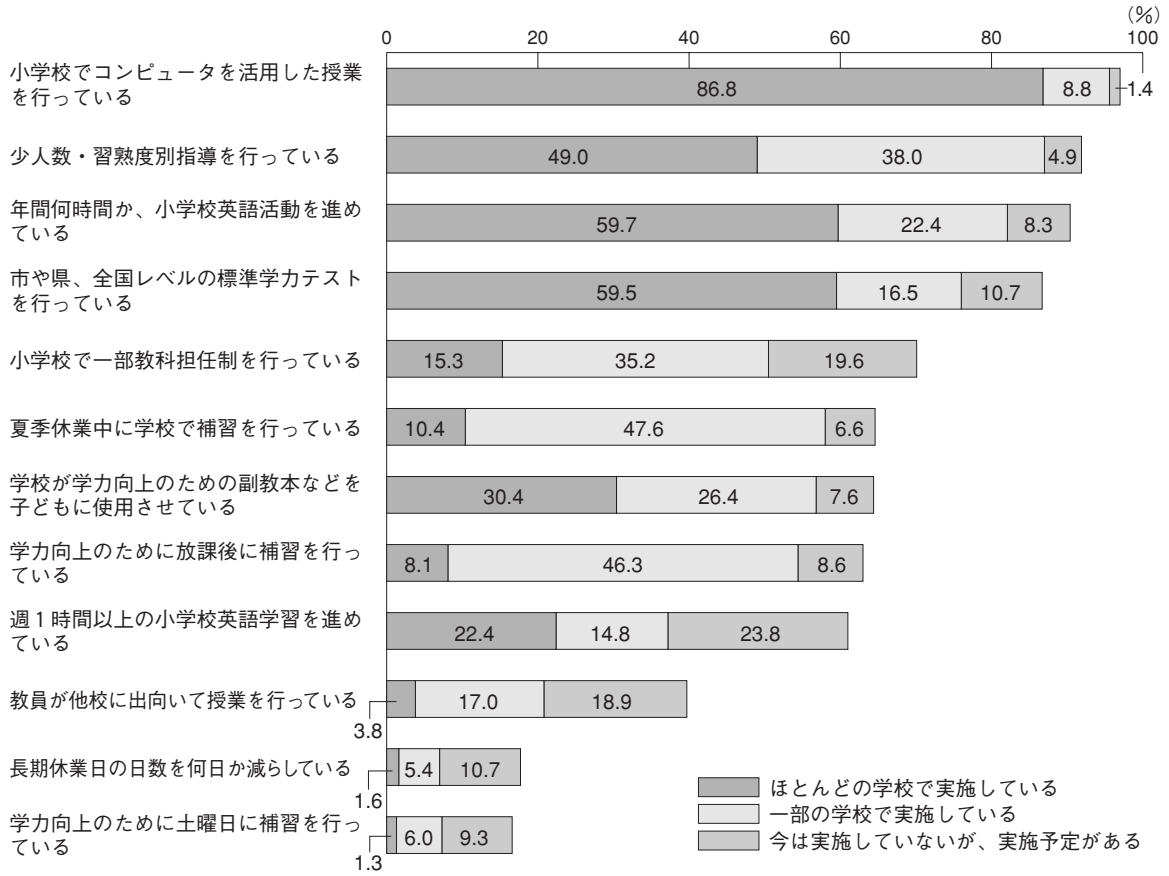
「かなりそう思う」「ややそう思う」の合計（以下同じ）では、「家庭の教育力が低下している」（91.3%）、「子どもの規範意識、社会的マナー、公共心などが希薄である」（85.2%）、「地域活動を担う若者が少ない」（84.9%）、「近所の大人が子どものよくない行為を見ても注意しない」（84.4%）の項目で８割を超えている。教育長の多くが、家庭、地域などの教育力について大きな課題を感じていることがわかる。

また、近年とくに注目されている学力低下の議論にかかわる項目は、「子どもの学習意欲が低下している」（67.4%）、「子どもの学力が低下している」（53.2%）となっている。視点を変えれば、それぞれ31.3%、45.4%の教育長が、「あまりそう思わない」もしくは「まったくそう思わない」と答えていることにも注目したい。

さらに、「学校、家庭、地域の連携がうまくいかない」（38.6%）、「校長のリーダーシップが不足している」（34.6%）、「教師のやる気が不足している」（33.7%）、「学校は一人ひとりに応じた教育を行っていない」（19.8%）、「進路指導が充実していない」（14.4%）などの項目では、「かなり＋ややそう思う」という回答は少ない。概ね、校長のリーダーシップや教師のやる気には不満があるものの、学校における指導力は不足していないと認識しているようだ。

3 各学校での具体的な取り組み状況

問3 あなたの市区町村では、各学校が次のような取り組みを行っていますか。



この設問は、各学校の授業内容や学習内容についての取り組みを調査したものである。

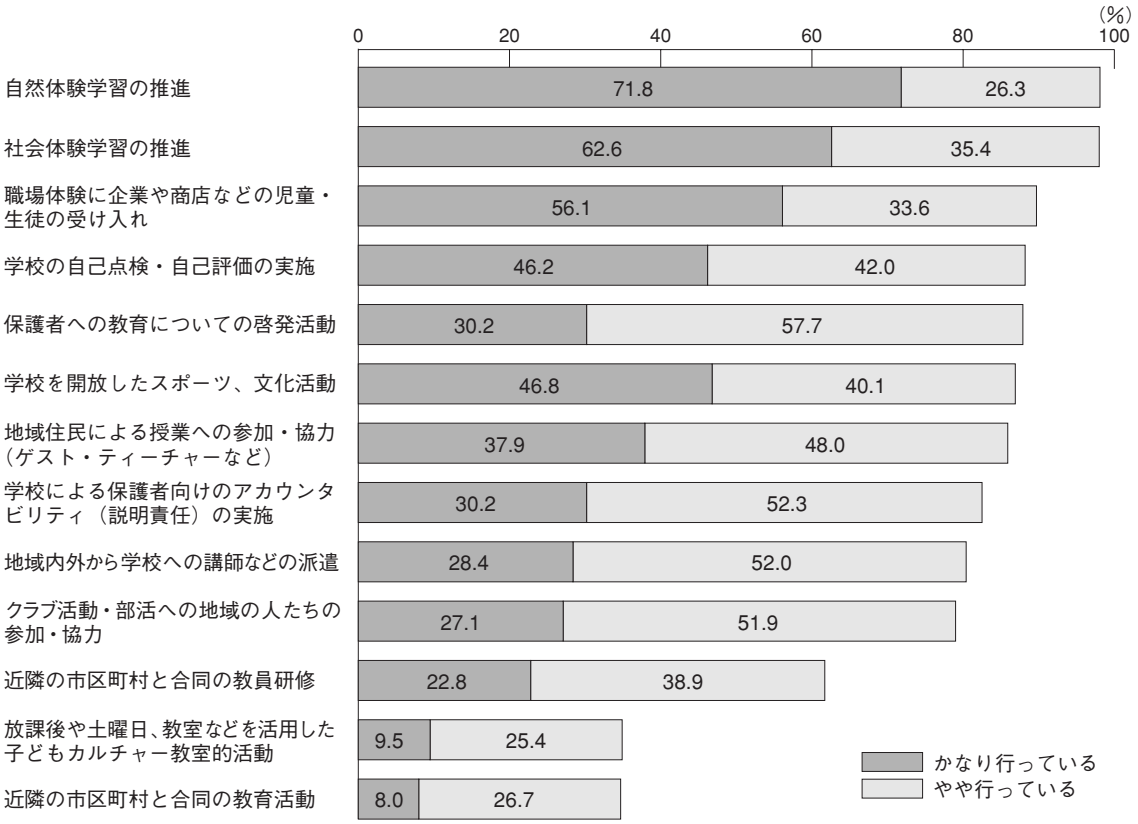
「ほとんどの学校で実施している」「一部の学校で実施している」「今は実施していないが、実施予定がある」の合計（以下同じ）では、「小学校でコンピュータを活用した授業を行っている」（97.0%）、「少人数・習熟度別指導を行っている」（91.9%）、「年間何時間か、小学校英語活動を進めている」（90.4%）、「市や県、全国レベルの標準学力テストを行っている」（86.7%）が８割を超えている。とくに「小学校でコンピュータを活用した授業を行っている」が「ほとんどの学校で実施している」だけでも８割を超え、取り組みが全国的に定着していることがわかる。同様に、ここ数年でとくに注目されている少人数・習熟度別指導や、小学校英語、標準学力テストが、他の取り組みに比べ、積極的に実践されている様子が明らかになった。

また、「小学校で一部教科担任制を行っている」（70.1%）、「夏季休業中に学校で補習を行っている」（64.6%）、「学校が学力向上のための副教本などを子どもに使用させている」（64.4%）、「学力向上のために放課後に補習を行っている」（63.0%）、「週１時間以上の小学校英語学習を進めている」（61.0%）などの実践も、実施と実施予定の合計が６割を超えた。

一方、「長期休業日の日数を何日か減らしている」（17.7%）や「学力向上のために土曜日に補習を行っている」（16.6%）は、合計が２割弱で、「特に考えていない」割合が高く、一部での取り組みにとどまっていることがわかった。

4 地域を含めた各学校での取り組み状況

問4 次のような取り組みについて、あなたの市区町村の学校での実施状況はどのようなものですか。



この設問は、各学校での地域や家庭を含めた取り組み状況を調査したものである。

「かなり行っている」「やや行っている」の合計（以下同じ）が、13項目中11項目で過半数となり、その内9項目で8割を超えるなど、全般にさまざまな取り組みを積極的に実施している様子が明らかになった。とくに「自然体験学習の推進」（98.1%）、「社会体験学習の推進」（98.0%）は、ほとんどの自治体が実施している。

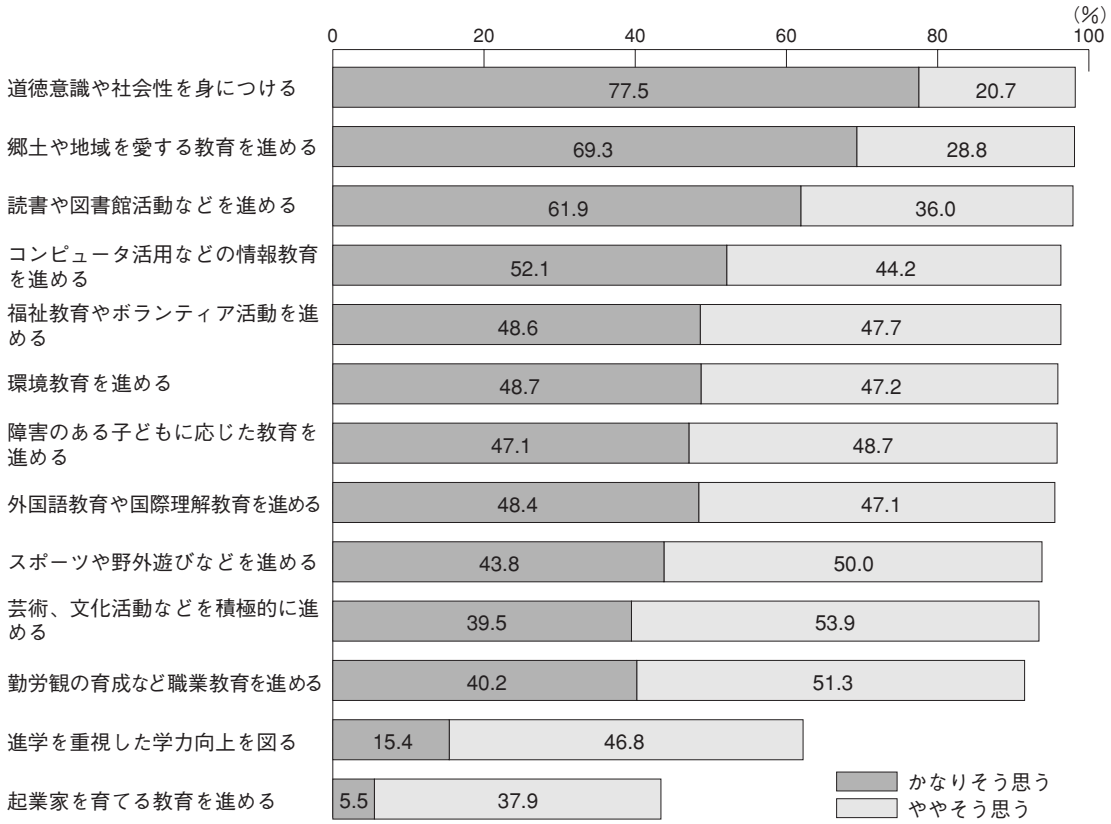
注目されるのは、「学校の自己点検・自己評価の実施」（88.2%）、「学校による保護者向けのアカウンタビリティ（説明責任）の実施」（82.5%）などが最近の新しい動きであるにもかかわらず8割以上の自治体が行っていることである。学校の内外からの評価や、保護者との関係づくりという、新しい学校運営の気運が高まっていることが推測される。

また、「地域住民による授業への参加・協力（ゲスト・ティーチャーなど）」（85.9%）、「クラブ活動・部活への地域の人たちの参加・協力」（79.0%）などが8割前後の自治体で行われていて、地域住民を巻き込んだ取り組みが広く実践されていることが示されている。

さらに、人口規模別の観点でそれぞれの回答率を比較してみた。とくに「かなり行っている」の回答に注目してみると、「学校の自己点検・自己評価の実施」「保護者への教育についての啓発活動」「学校を開放したスポーツ、文化活動」「地域住民による授業への参加・協力（ゲスト・ティーチャーなど）」「地域内外から学校への講師などの派遣」の項目で、人口規模が大きいところほど、回答率が高い傾向がみられた（巻末基礎集計表参照）。

5 これからの学校教育について力を入れていくべき分野

問5 これからの学校教育についてどのような分野に力を入れていくべきだと思いますか。



この設問は、これからの学校教育について力を入れていくべき分野をどのように考えているかを調査したものである。

「かなりそう思う」「ややそう思う」の合計が、13項目中11項目で9割を超え、教育長たちはさまざまな分野について、学校教育で力を注いでいかなければならないと考えていることが示された。

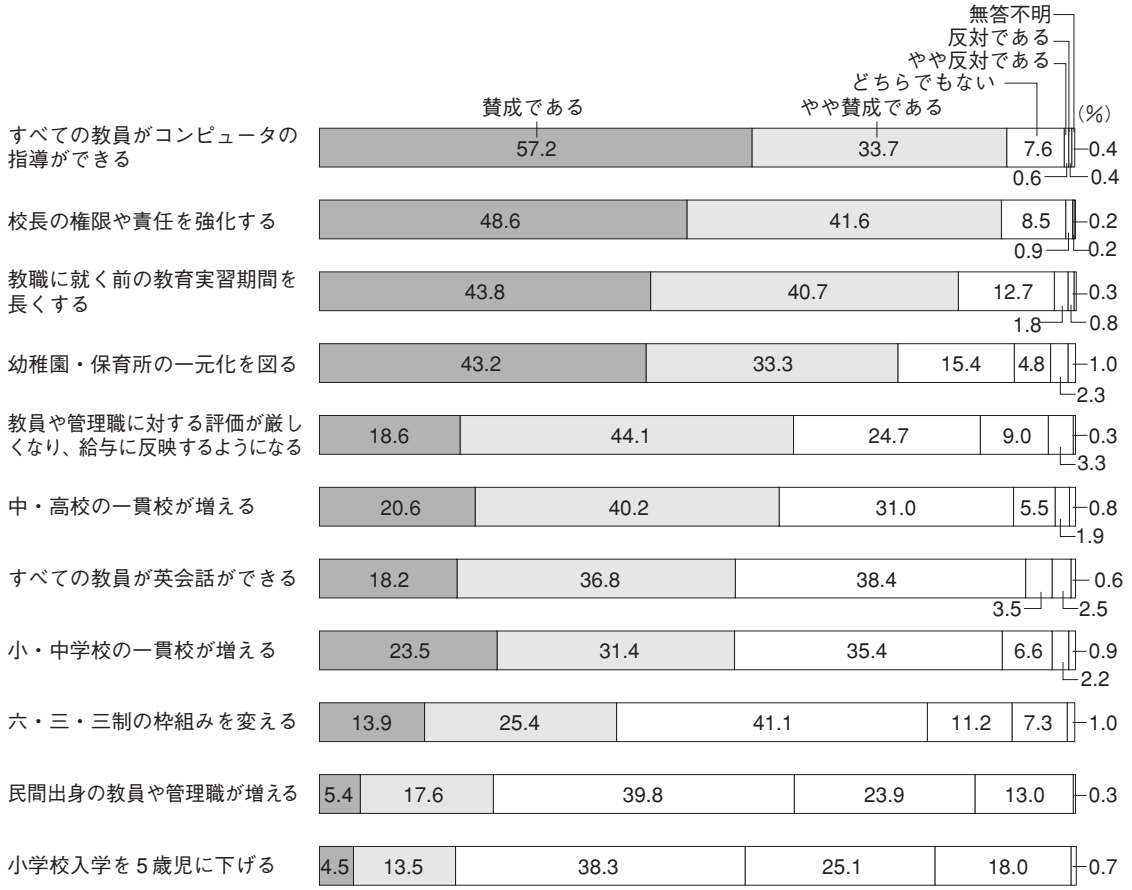
なかでも、「道徳意識や社会性を身につける」は全項目で一番高い割合となり、「かなりそう思う」だけでも77.5%を示した。これは、「最近の教育の状況に対する意識」（問2）について、多くの教育長が「子どもの規範意識、社会的マナー、公共心などが希薄である」と認識している（「かなり＋ややそう思う」85.2%）ことと関連しているといえよう。同様に、「郷土や地域を愛する教育を進める」（「かなりそう思う」69.3%、以下同様）、「読書や図書館活動などを進める」（61.9%）は、6割以上が「かなりそう思う」とした。また、「コンピュータ活用などの情報教育を進める」（52.1%）、「環境教育を進める」（48.7%）、「福祉教育やボランティア活動を進める」（48.6%）、「外国語教育や国際理解教育を進める」（48.4%）、「障害のある子どもに応じた教育を進める」（47.1%）、「スポーツや野外遊びなどを進める」（43.8%）、「勤労観の育成など職業教育を進める」（40.2%）、「芸術、文化活動などを積極的に進める」（39.5%）は、「かなりそう思う」がおよそ4～5割であった。

一方で「進学を重視した学力向上を図る」（15.4%）、「起業家を育てる教育を進める」（5.5%）は、「かなりそう思う」と「ややそう思う」の合計でも、それぞれ62.2%、43.4%に過ぎず、大方が9割を超える他項目との差が出た。

また、人口規模別の観点でそれぞれの回答率を比較してみたが、人口規模による差異は大きくなく、一定の傾向はみられなかった。力を入れていくべきだとする分野は、人口の規模に大きくは影響されないようである（巻末基礎集計表参照）。

6 全国的にみられる教育動向に対する賛否

問6 最近、全国的にみられる次のような多様な教育の動きをどう思われますか。



この設問は、全国的にみられる教育動向に対する賛否について調査したものである。

「賛成である」「やや賛成である」の合計では、「すべての教員がコンピュータの指導ができる」（90.9%）、「校長の権限や責任を強化する」(90.2%)、「教職に就く前の教育実習期間を長くする」(84.5%）が８割を超えた。

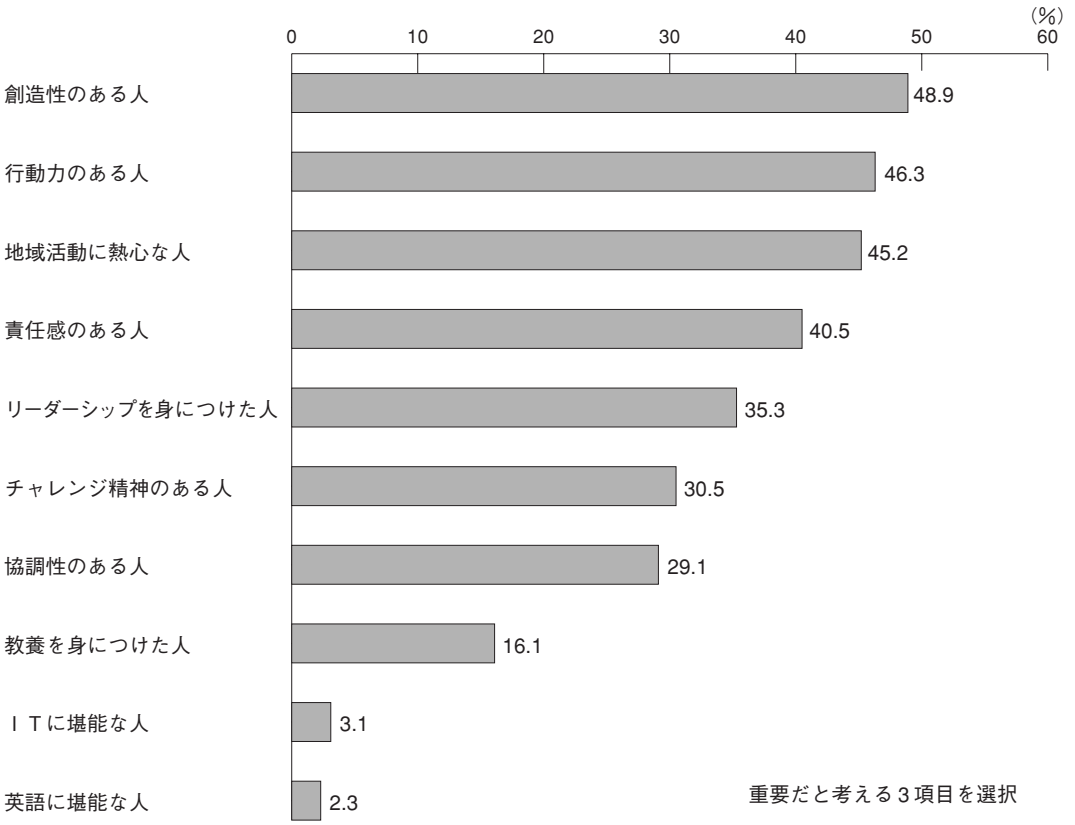
なかでも、「すべての教員がコンピュータの指導ができる」に「賛成である」としたのが、57.2%と半数を超えた。これは、「各学校での具体的な取り組み状況」（問３）のなかで、「小学校でコンピュータを活用した授業を行っている」が、最も高い実施率であった（「ほとんどの学校で実施している」86.8%）ことと関連していると考えられ、学校のＩＴ化が着実に進んでいるようである。

また、「校長の権限や責任を強化する」(90.2%）をはじめ、「教職に就く前の教育実習期間を長くする」(84.5%)、「教員や管理職に対する評価が厳しくなり、給与に反映するようになる」（62.7%）など、教職員の職責や能力開発、評価に関する事項で賛成する割合が高く、６割を超えている。

一方、学校制度の見直しに関する項目として、「幼稚園・保育所の一元化を図る」は７割強、「中・高校の一貫校が増える」「小・中学校の一貫校が増える」はそれぞれ５～６割程度が賛成であった。「六・三・三制の枠組みを変える」は、「賛成（賛成である＋やや賛成である)」「どちらでもない」がそれぞれ４割ずつとなった。ただし、「小学校入学を５歳児に下げる」は「やや反対である」「反対である」の合計が43.1%と賛成（「賛成である」＋「やや賛成である」）18.0%よりも多かった。

7 将来、地域にとって必要な人材

問7 将来、地域にとってどのような人材が必要と考えますか。（重要だと考える３項目を選択）



この設問は、将来、地域にとって必要な人材について調査したものである。

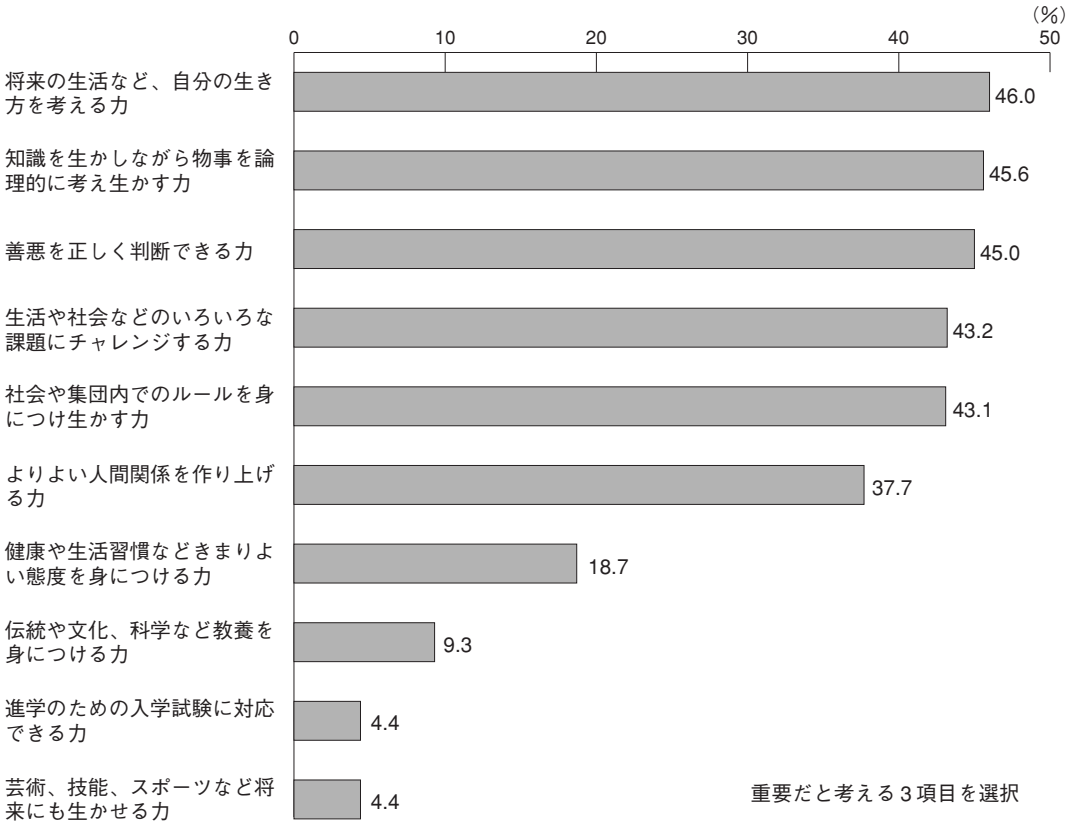
10項目のなかから、重要だと考える項目を３つまで選んでもらったところ、上位は、「創造性のある人」(48.9%)、「行動力のある人」(46.3%)、「地域活動に熱心な人」(45.2%) となった。地域の教育を活性化するためには、創造性と行動力がある人材が必要と感じていると考えられる。続いて、「責任感のある人」(40.5%)、「リーダーシップを身につけた人」(35.3%)、「チャレンジ精神のある人」(30.5%)、「協調性のある人」(29.1%)、「教養を身につけた人」(16.1%) となっている。

「ＩＴに堪能な人」が3.1%、「英語に堪能な人」が2.3%と低い数値を示した。

さらに、人口規模別の観点でそれぞれの回答率を比較してみたが、人口規模による差異は大きくなく、一定の傾向はみられなかった（巻末基礎集計表参照）。

8 学校教育で子どもたちに身につけさせたい力

問8 学校教育で子どもたちに身につけさせたい力はどのようなものだと考えますか。（重要だと考える３項目を選択）



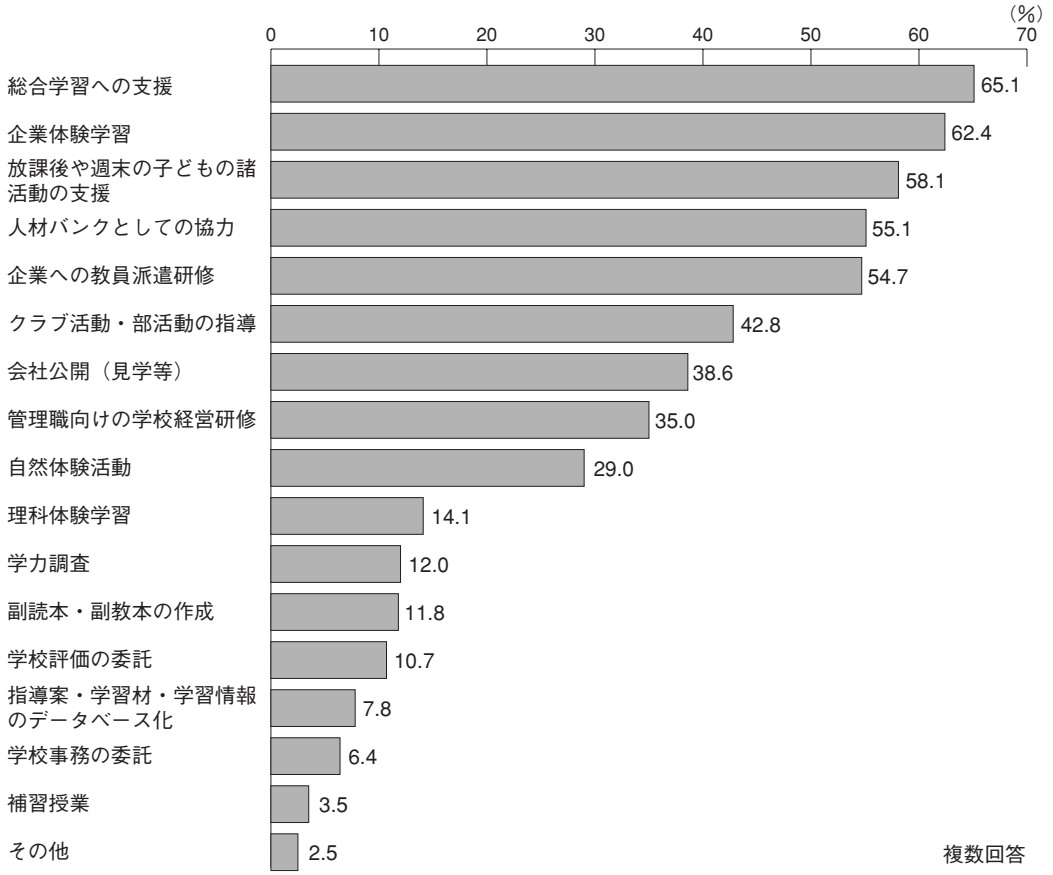
この設問は学校教育で子どもたちに身につけさせたい力について調査したものである。

10項目のなかから重要だと考える項目を３つ選んでもらったところ、上位は「将来の生活など、自分の生き方を考える力」（46.0%）、「知識を生かしながら物事を論理的に考え生かす力」（45.6%）、「善悪を正しく判断できる力」（45.0%）、「生活や社会などのいろいろな課題にチャレンジする力」（43.2%）となった。続いて、「社会や集団内でのルールを身につけ生かす力」（43.1%）、「よりよい人間関係を作り上げる力」（37.7%）など、社会性にかかわる項目が多く選択された。

一方で、「進学のための入学試験に対応できる力」（4.4%）、「芸術、技能、スポーツなど将来にも生かせる力」（4.4%）は５%に達しない回答率だった。

9 民間企業に期待すること

問9 次のような項目について、民間企業などに期待することはありますか。（複数回答）



この設問は、民間企業に期待することを調査したものであり、17項目のなかからあてはまるもの全てを回答してもらった。

「総合学習への支援」（65.1%）、「企業体験学習」（62.4%）、「人材バンクとしての協力」（55.1%）など、総合的な学習の時間への支援や協力のニーズが高いことがわかる。さらに、「放課後や週末の子どもの諸活動の支援」（58.1%）や「クラブ活動・部活動の指導」（42.8%）など、特別活動や課外活動での子どもの指導・援助についても、教育長たちは民間企業などに期待していることがわかる。ただし、これらは実際には、企業から学校に出向いたり、子どもが企業に参加できる範囲での教育活動であり、企業のボランティア的活動を期待したものである。

教員研修については、「企業への教員派遣研修」（54.7%）や「管理職向けの学校経営研修」（35.0%）などのニーズも高い。とくに管理職向けの研修では、学校経営において民間企業ならではのマネジメント手法等が注目されているようである。また、外部への委託事業は少ない傾向である。なかでも「学校評価の委託」（10.7%）、「学校事務の委託」（6.4%）などは、まだ少ない。

上記に加え、選択肢以外の「その他」を選択した回答のなかには、「外国語指導助手（外国人）の派遣」「英語指導助手の派遣」「公立幼稚園の民間委託」「社員と教員との期間限定での交換の推進」などの具体的な要望もあがり、幅広く多様なニーズが存在することがわかった。（鷲尾　奈都）

10 特色ある教育活動について

問10 あなたの市区町村で行っている他にはない特色ある教育活動があれば、記入してください。

ここでは、「市区町村で行っている他にはない特色ある教育活動」についての記述内容を分析し、その傾向などをまとめてみた。

〔分析の方法〕

① 問10の回答として記述された内容を入力し、あらかじめ分類テーマごとに出てくるキーワードをいくつか設定して、そのキーワードを含むそれぞれの記述内容をピックアップした。下記の表の「件数」とはそれぞれのキーワードが含まれた記述内容の件数である。

② 複合的なテーマの場合は、キーワードが重複する場合があり、そのため「件数」はテーマの件数を表すものではない。あくまでテーマの傾向性を数量的に見るための数値である。

〔分析の結果〕　上位から順に並べると以下のようになる。

順位	分類テーマ	キーワード	件数
1	体験学習・環境教育	環境、自然、ビオトープ、海、山、川、野外、食など	223
2	国際理解、英語活動	英語、外国、国際社会、海外、交流、ＡＬＴ、相互など	195
3	郷土理解、地域文化	伝統、伝承、芸能、民俗、祭、地域、地元、郷土など	160
4	ＩＴ教育	パソコン、コンピュータ、情報、ＬＡＮなど	103
5	読書、図書館活動	図書、読み聞かせ、読書、本など	95
6	心身のケア	カウンセラー、こころ、いじめ、不登校など	88
7	学校評価、運営	管理職、評価、学校選択、支援者、２学期制など	87
8	福祉、ボランティア	福祉、シニア、高齢者、ボランティア、世代間交流など	76
9	芸術、文化活動	合唱、絵、音楽、コンサート、踊りなど	49
10	学力向上対策	学力向上、基礎学力、テスト、定着など	47
11	スポーツ、体育	健康、スポーツ、体育など	40
12	道徳教育	道徳、あいさつ、しつけ、社会性など	17

〔解　説〕

（１） 特色ある取り組みで最も多いテーマの傾向は、地域の特徴を生かした体験学習的なものである。ただし、その内容は環境教育的なものから、ボランティアやスポーツ、文化活動まで多岐にわたり、複合的なものが多い。

（２） グローバル化に向けて、英語活動や、国際理解、国際交流の取り組みと、ローカルな郷土の理解や地域の文化への取り組み、村おこし、町おこし等の活動が多いことも特色である（複合的なケースも多い）。

（３） 教育委員会の活動においては、学校教育に限定されず、村おこし、町おこし的な地域の活動に、教育を組み込むような「教育・文化融合的」な活動の傾向が多くみられた。　（島内　行夫）

特色ある教育活動の実践例集

回答にキーワード以外の活動が含まれている場合があるが、なるべく回答の文面をそのまま掲載した。
なお、キーワードに関連するところは太字にしている。また、誌面の都合上、一部の紹介となった。

教育委員会名	自 由 記 述 内 容
1. 体験学習・環境教育（環境、自然、ビオトープ、海、山、川、野外、食など）	
岩手県川崎村	村は大河北上川と、それに注ぐ砂鉄川、千厩川が流れ、太古より度重なる水害は人々の財産と生命を奪ってきた。反面、川がもたらす肥沃な土壌は豊かな恵みと多くの生命を育んできたことも事実。舟運時代の往時を偲びつつ、今、村は、水害常襲地からの脱却・治水事業と併せ、「川の駅・かわさき」構想のもと、親水の村づくりを進めている。近年富に自然への回帰を目指す活動が盛んになっている。**「川の小楽校～リバーキッズ～」**も、こうした事業のひとつであり、「総合的な学習の時間」に位置づけ、行政・地域・学校教育・社会教育の垣根を越え「川」という素材を生かしながら、あすの川崎村を担う子どもたちの心を育もうと取り組んでいる。これは地域に根ざした教育課程の体系化がはかられるなど大きな成果が得られ校内外から大きな評価を得ている特色ある教育活動である。**中学校の環境教育、グリーンスクール**につなげている。
山形県羽黒町	**山の集い**…町内全４つの小学校５年生が２泊３日、山でキャンプを行う。地域の指導者や、中高のボランティアの協力を得て実施。28年の歴史がある。 **わくわくの森**…４年生が山でブナの苗を採ってきて育て、５年生になった時山へ植林する取り組み。さらにこの森の教育的活用を検討中。森林管理事務所の協力を得て実施している。
千葉県袖ケ浦市	・**登山を主とした自然体験学習**の推進。小学校５年生２泊３日。中学校２年生３泊４日。交通費、宿泊費、下見費用等を市費負担。 ・少人数指導推進教員13名を市の臨時職員として雇用し、市内全小・中学校に１名ずつ配置している。 ・読書指導員を市内全小・中学校に１名ずつ配置するとともに、図書館用コンピュータの配置、図書流通システム等により、読書教育を推進している。 ・市内全小・中学校のコンピュータ室１人１台体制、教室用コンピュータを１台配置（インターネット接続可）等により、高度情報通信社会に対応。 ・教育相談の充実を図るため、スクールカウンセラーを市内全小・中学校に配置している。
新潟県小千谷市	**「山本山ふるさと学習」** 市の象徴的存在である山本山をフィールドに、学習素材に展開する教育活動 ＜ねらい＞ ふるさとを知り、ふるさとに学び、ふるさとを愛する心をはぐくむ ＜特徴＞ 小学校15校、中学校５校全ての学校が取り組む活動 ・多様な学習活動の展開　・学校支援ボランティア活動　・ＴＶ会議システムを活用した学習指導
長野県御代田町	**「こども自然探検隊」生涯学習（公民館活動）**の事業として行っているもの。今年度で11年目。 ねらい…自然を探検し、自然に触れることにより、自然との共存を学び、自然を大切にすると共に分隊（１～６年タテワリ）を形成し、子ども同士のつながりから助け合う心を養う。 場所…浅間山周辺 期間…４月から11月まで年７回（土曜日） 対象…小学生（中学生もボランティアで参加） 指導者…町内の有識者（動物、植物、鉱物、山岳等の専門家から学校職員） ※希望者が多いために抽選で決めている。
三重県御薗村	**御薗すてき発見ワークショップ**…御薗村の自然環境にふれて子どもたちの遊び心を育てようとするもの 平成12年から毎年実施、各２～３日間、指導者外国人アーチスト 本年はスティーブン・ギル：テーマ　生け石：参加者　小・中学生49名、大人20名（ボランティア・事務局含む） 準備、製作活動を通じての子どもたちと大人とのふれあいもひとつのねらいで、一定の成果を上げている。
鹿児島県 高尾野町	１.**「ふるさと学寮（通学合宿）」**８泊９日…町の公民館に小学校４年生から中学校３年生までの約30名～40名が宿泊し、共同生活をしながら通学する体験活動。食事も自分たちで作る。 ２.**「少年の船事業」**離島に３泊４日キャンプする。平素できない海洋体験等ができる。対象は小学校５年生より高校生まで約60名が参加。
2. 国際理解、英語活動（英語、外国、国際社会、海外、交流、ALT、相互など）	
北海道千歳市	**グローカル・スクール活動事業**…グローカルとは、グローバルとローカルを合わせた造語で think　global、act　local。広い視野で考え、足元から行動しよう、という意味で平成９年から実施。各学校が地域や児童・生徒の実態に合わせ事業を行っている。 例）・**国際理解交流（アンカレジ、サイパン、ノルウェーとの交流）**・ボランティア（老人ホーム等、福祉施設との交流）・伝統文化（アイヌ文化の理解）・農園栽培（栽培学習、勤労学習、感謝）　等々。
北海道洞爺村	１．**国際理解教育…英国の民間ボランティア団体から、高校を卒業した青年２名を１年間受け入れ**（帰国後大学進学する）し、保育所・小・中・高校での活動や、地域行事への参加、英会話教室等を通して、お互いの文化等を交流している。（本年で13年目） ２．村が主催する国際彫刻ビエンナーレにあわせ、小・中学生も授業時間に作品をつくり、１か月の展示期間中、作品の展示を行う。
秋田県雄和町	当町にはかつてミネソタ州立大学機構秋田校（平成２年５月開学→平成15年３月閉校）が存在し、平成16年４月には県立国際教養大学として開学予定。 このような環境でしたので平成８年より小学校４校、**小学２年生より週１時間、全学年Ａ、Ｂ、Ｃ教室を実施**した。講師はＡＬＴ２校、人材派遣会社１校、大学教授婦人１校、カリキュラムは民間企業より。

教育委員会名	自 由 記 述 内 容
長野県下諏訪町	1．**小学校の英語活動「聞く」「話す」のコミュニケーション能力の育成と国際理解教育の推進…小学校にＡＬＴを派遣**している。（小学校１年生～６年生まで） 2．外部講師導入事業「夢・いきいき授業」中学２年生…各界で活躍している著名人を先生として招き生徒と向き合い授業を通じ感動、好奇心をもって将来への夢をもってきりひらいていく力を育むため。 3．天文・宇宙・航空教育広報連絡会と連携しての「モデル宇宙授業」中学校３年生。 4．「朝の10分間どくしょの実施」２小学校週３日間、２中学校週５日間（毎日）。
岐阜県上宝村	1．雲上始業式（中学校）…２学期の始業式を兼ねて１泊２日の全校登山（3000ｍ級）を行い、２日目の日の出に合わせて山頂で始業式を行う。 2．**中学３年生（全員）カナダ研修**…６泊８日の日程でカナダ・アルバータ州ポンアコード町でのホームステイ、学校交流を主として実施。 3．山の子・海の子交流（小学生）…夏、富山県氷見市の海辺の小学校へ、冬、上宝村へスキー交流に来ていただく。
愛知県額田町	**マレーシアのスリＫＬ校と額田中との14年間にわたる相互訪問、交流**による国際理解教育（１校から、22名の生徒を派遣している）
和歌山県 南部川村	・思春期保健福祉体験学習（Ｈ５年～）・**英会話コミュニケーション授業（Ｈ元年～）**・**イングリッシュパワーアッププログラム事業（Ｈ15年～）**・**チャレンジ国際交流（中学生海外研修）（Ｈ10年～）**
広島県蒲刈町	**中学１年生を全員、夏休みにイギリスへ１か月留学**させている。全額町費で。
宮崎県南郷村	**韓国との国際交流** 韓国林川中学校と姉妹校を、本村２校（２校中）が結んでいる。本年で14回目の訪韓を実施、毎年中学１年生を夏休みに、全員４泊５日で派遣している。全額村負担（県補助あり）。サムルノリなどを通し、異国文化を学び、同時に自国文化を見なおす教育活動を行っている。
沖縄県嘉手納町	1．平成12年度より**幼稚園から中学校３年毎週１時間、英会話とパソコン教室を開設**し、専任講師を配置して国際化・情報化に即応できる教育を推進している。 2．18歳から22歳までの若者たちの人材育成事業として**「町立外語塾」**を開設して、英会話とパソコンを中心とした教育を２年間行っている。（定員毎年15名以内、授業料免除、毎月一人25,000円の奨学金を支給。２年次には30時間のホームステイを行い、全額町が負担）（米国、英国、オーストラリアで実施）
3. 郷土理解、地域文化（伝統、伝承、芸能、民俗、祭、地域、地元、郷土など）	
北海道羅臼町	毎年夏季休業期間中に社会教育事業ふるさと学習の一貫として**郷土の大自然を活用したふるさと少年探検隊（小３～中学生）**日程１週間程度を実施し、「生きる力」を育む事業を展開している。
秋田県能代市	1．毎年９月第２土曜日に開催されてきている（東北各地（全国の時もあり）を中心に実施される夏祭り等を招き開催）**“おなごりフェスティバル in のしろ”に「能代（市）の伝統七夕」（約350年の歴史あり）**を「能代一中」と「能代二中」の全校生でそれぞれ出し、好評を得ている（テレビ等で広く紹介されている）。 2．当市の各小・中学校ではそれぞれ特殊ある**「ふるさと学習」**（総合的な学習の時間に連動）が展開されている。
岩手県遠野市	**伝統芸能等の継承活動**が中心である ①全校児童による、音楽、国語、体育教科組み合わせによる表現活動～『遠野の里の物語』 ②子ども語り部（小学生による「昔話」の語り部活動）③中学生による謡曲と民謡を同時に唱和する『ご祝』等
群馬県富士見村	・「通学合宿」廃校、休校している学校を利用して、その施設を整備し宿泊による通学を全小学校（４校）で実施している。 ・**文化協会の各講座への小・中学生の導入**…囲碁講座、切絵講座、ハーモニカ教室、和太鼓講座など９講座で小・中学生の参加に門戸を開いている。 ・**学校施設の地域への全面開放**…従来の体育・スポーツ施設の開放から、学校施設（コンピュータ教室、視聴覚教室、家庭科室など）全てを地域へ開放している。
茨城県五霞町	本町は工業地域であり、**現在企業の方々と連携し、工場から学校授業に参加していただき、特色ある授業づくり**に取り組んでいる。 (具体的）利根川の砂鉄から工芸品をつくる（小５）。また、九十九里町（千葉県）の児童との体験交流学習（小５）を実施しており、海水からの塩作りなど浜辺でなければ体験できない学習を展開している。
千葉県四街道市	1．**コミュニティスクール**を目ざして…**地域住民の学校教育への参画、施設の開放**を広めている。 2．生涯学習まちづくり出前講座…市職員を学校市内団体に講師として派遣。 3．生涯学習生きがいづくりアシスト事業…市民に登録してもらい生涯学習の場に講師として派遣。 4．学校図書館指導員…現在は２名だが２校ずつ担当し図書館運営、読書指導、地域住民との連携をはかっている。年度毎に増員し、全小・中学校に配置を目標。 5．教育支援ネットワーク会議…教育、福祉方面で相談業務にあたっている職員の連携を深めている。どんな相談にも応じられる体制。 6．市民団体・公民館主催講座受講生による文学作品の読み聞かせ、民話の語りを小学校で開催。
神奈川県 相模原市	本市では、毎年**「さがみ風っ子文化祭」という文化行事を開催**しております。この文化祭は、子どもたちの豊かな人間性の育成を目的に、小・中学校における日頃の教育活動の成果を「展示部門」、「ステージ部門」、「交流部門」の３部門を通して広く発表するものです。とくに、展示部門の野外造形展はおよそ２ヘクタールの公園の広場に、児童・生徒の造形作品約２万点が展示され、それはみごとなものです。今年度で25回目を迎え、平成15年度に中核市に移行した本市として全国に誇れる特色ある教育活動のひとつです。
長野県高遠町	1．**進徳館教育の継承、発展**…進徳館は江戸時代末の高遠藩校であるが、ここから明治の新しい時代を切り拓く偉人が輩出した。この藩校が重視した教育の理念をみなおし、それを現代の教育に生かすことが試みられている。 2．伊沢修二先生の記念音楽祭…伊沢修二先生は東京音楽学校（現東京芸大の前身）の校長であり近代音楽教育の基礎を築いた人であるので、その功績を顕彰しようと東京芸大のご指導ご協力によって記念音楽祭を毎年開催している。高遠町の小・中学生はこの音楽祭に参加している。

教育委員会名	自 由 記 述 内 容
愛知県蟹江町	・**伝統文化伝承活動**…古くから伝わる**「須成まつり」の伝統を残すために須西小学校に郷土芸能クラブを設け、地域の古老から須成太鼓の指導**を受けている。 ・障害児教育の推進…蟹江小学校には、従来から情緒障害・知的障害の２クラスの特殊学級はあったが、平成14年度から県下で初めて肢体不自由学級を設置。 ・企業体験学習の充実…蟹江中学校では、町内70余の企業の協力を得て、２年生全員（200名余）が３日連続の企業体験を実施。
鹿児島県開聞町	１．**昔話の里現地巡り**…町内に残っている昔話を、それぞれの現地で聞くことを通して児童・生徒が郷土を見直すとともに、感動を深め、読書意欲を高めることが目的。夏季休業中に、希望者を対象に実施。例年町内５か所程をバスで移動する。語り手は、町内出身の日本児童文学者協会の会員等。 ２．わくわく土曜クラブ…完全学校週５日制支援事業として、町内の小・中学生を対象に、「ものづくり」やバスを使って県内のイベント会場に行き、施設見学、科学体験、文化体験、芸術鑑賞体験等を行っている。毎月１回実施。
4. ＩＴ教育（パソコン、コンピュータ、情報、ＬＡＮなど）	
宮城県大衡村	・保育園、幼稚園、小学校、中学校におけるＡＬＴの活用　・**小、中学校各教室とのＬＡＮパソコンの活用** ・小学校ビオトープ（自然観察園）・老人福祉施設等の交流、ボランティア活動　・小学校１年生から６年生までの１泊合宿研修　・小学校４年生から６年生までの６泊７日合宿体験通学　・中学生職場体験学習（２年生１日間）
東京都小平市	・市内一斉学校公開週間…各学期１週間の市内一斉公開週間を設定。市内の４校の都立高校も参加している。 ・学校支援ボランティア…学生・保護者・地域の方々による学校支援ボランティア。学習支援、読書活動、個別支援等が展開されている。（平成14年度・学生ボランティア延べ2,853名、保護者・社会人ボランティア延べ22,200名、計25,053名） ・**こげらネットワーク**…市教委にセンターサーバーを設け、市立小・中学校と教育委員会、図書館とを光ファイバーによるＬＡＮで結んでいる。学校から市立図書館の蔵書検索・予約ができる。中学校においては、ノートパソコンによる校内無線ＬＡＮを配備。今後、小学校にも拡大していきたい。
東京都三鷹市	１．新しいタイプの学校図書館を全小・中学校に新たに整備し、専任の司書を置くとともに、パソコンを数台配置することにより、「学習情報センター」と「読書センター」の２つの機能を持たせ、教育効果を高めている。あわせて、市民開放も行っている。 ２．教育ネットワークを構築し、国の中央ネットワークセンターとして機能している。また、**学校と家庭を結ぶ地域イントラネットを構築し、学校、家庭、地域が連携した情報教育の拡充**に努めている。 ３．本市の特色を生かした小・中一貫教育校の開設を目指している。 ４．学校の施設開放を積極的に進めている。
5. 読書、図書館活動（図書、読み聞かせ、読書、本など）	
沖縄県竹富町	**「教育の森文庫」**を開設し、町内の学校を３グループに分け、１か月単位で巡回し、全児童・生徒が数多くの図書に触れることができるよう努めている。年間500冊ほどの図書を地域の有志の厚意によって購入し、読書活動の充実強化に努め、一定の成果を収めている。
6. 心身のケア（カウンセラー、こころ、いじめ、不登校など）	
栃木県佐野市	１．**「さわやか教育指導員」配置事業**…心の教育を推進するために、教員免許状を有する者を小・中学校に１名以上配置。（平成15年９月30日現在、小学校に33名、中学校に５名） ２．**「さわやか健康指導員」配置事業**…保健教育活動の充実を図るため、養護教諭免許状を有する者を500名以上の小・中学校及びとくに健康管理上の支援が必要な児童・生徒が在籍する学級に配置。（平成15年９月30日現在、小学校に４名、中学校に３名） ３．「特色ある学校づくり」支援事業…各小・中学校において、学校や地域の実態、児童・生徒の興味・関心等を踏まえ、各校の創意工夫を生かした特色ある教育活動を計画・実施するために、１校15万円＋（学級数×5,000円）を交付する。
福井県福井市	１．**ライフ・パートナー事業**…不登校児童・生徒のため、本市実施の「チャレンジ教室（適応指導教室）」の教育相談員とともに、地元福井大学の学生が専門教育を受講しながら、学校や家庭に出向いて支援活動を行うもの。ライフ・パートナーの養成･指導を含む「地域と協働する実践的教員養成プロジェクト」は、本年度文科省の「特色ある大学教育支援プログラム（教育ＣＯＥ）」に採択されるなど、大学との連携が評価されている。 ２．開かれた学校づくり推進事業…福井市を担う子どもの健やかな育成のため社会の人材を学校教育に積極的に受け入れ学校の活性化、特色づくりを推進するとともに、幼稚園、小学校、中学校との連携、保護者・地域諸団体等との連携を強化し、内外に開かれた学校づくりを目指すもの。本市内全小・中学校（64校）及び全幼稚園（18園）で実施している。
7. 学校評価、運営（管理職、評価、学校選択、支援者、２学期制など）	
神奈川県愛川町	・**魅力ある学校づくり推進事業（学校裁量予算）**　・**魅力ある教員養成課題選択研修**…自らの研修課題により研修者が、研修内容を決定し、自らの計画に従って研修を実施する。・**自主研究グループ支援事業**…学社によらず応募内容により対象グループ決定、年度末に報告書を作成。・人権教育総合推進地域研究…文科省の研究指定（平成13～15年度）によるもの。外国籍住民が５％近いことから人権教育を国際理解教育の視点から研究した。・朝の読書…平成10年度より教育長から呼びかけ、現在町内小・中学校全校が読書ボランティア13サークル235名の協力を得ながら毎日実施している。・生涯学習人材バンク、あいかわ楽習応援団「みんなの先生」登録者研修事業…年間シリーズで人材バンク登録者の資質向上のため、理論とキャンペーン講座の実践を積み上げている。・放課後児童健全育成事業…地域集会施設を利用し、放課後の時間帯、小学生に生活空間を地域のなかに確保することをねらいとして実施しているもの。

教育委員会名	自 由 記 述 内 容
愛知県一宮町	・学校経営評価…保護者、生徒、教師による評価の実施（指導と評価の一体化）　・子ども会活動…ジュニアリーダー制の導入　・歌舞伎クラブ…地域の伝統芸能を小学校のクラブに取り入れて活動　**・開かれた学校経営**…学校だよりを首長、議員、区長、教育委員に配る　**・穂の国の教育の発行**…学校に経営案があるように、町教育委員会にも経営方針、具体的な施策等の内容をもちこんだものを作成、関係者に配付　・町単不登校支援員の設置…効果大
高知県西土佐村	**・年度始めに到達度把握検査（教研式ＣＲＴ）、年度末に貴社（ベネッセ）の総合学力調査を実施（小・中学校）。** **・本村の小・中学校・高校の全児童・生徒及びその保護者、一般住民を対象とする大規模な教育実態調査をアンケート形式**で行う。その結果等を資料とし、小学校区を基本として地区別の教育懇談会を開催する。 ⇒児童・生徒の学力実態・保護者及び村民の本村学校教育に対するニーズ等を、客観的なデータや村民の生の声に基づいて的確に把握し、必要かつ的を射た施策を行う。 ・県外公立小・中学校及び県立養護学校に、総計10名の村内教職員を短期派遣し研修する。 **・県外の連携教育先進校の校長を招き、講演やパネルディスカッション等を実施**。⇒村内教職員の資質・指導力の向上、保・小・中連携教育の推進に資する。
8. 福祉、ボランティア（福祉、シニア、高齢者、ボランティア、世代間交流など）	
千葉県小見川町	1.**「わんぱく教室」の開設**…完全学校週５日制の実施に伴い、休日を利用し、地域ボランティアの協力を得ながら小学生を対象に各種体験教室を実施している。 2.**「生涯学習人材バンク事業」の実施**…専門的な知識や技能を持った方々にボランティアとして登録していただき、地域や学校で活動できる人材バンク事業を実施している。 3.「町教育計画」の策定…内部の意志統一を図り、共通認識の下に事務事業の効率的な進行管理を行うため、教育委員会独自の教育計画を策定し、個別事業の行動計画をも定めて執行に当たっている。
熊本県松橋町	町内小・中学校（約2500名）の児童・生徒の大多数が地域ごとの小グループを編成し、各地域で毎月行われている19品目にわたる**ごみの分別収集に、夏休み等の長期休暇を利用して地域構成員の一人として参加**し、リサイクル・環境学習等に大きな成果を上げている。なお、**中学生は各地域の高齢者宅を訪問して、分別収集に協力**しており、大変感謝されている。
9. 芸術、文化活動（合唱、絵、音楽、コンサート、踊りなど）	
宮城県志津川町	**・志津川町立清水小学校…全校児童47名による全員合唱**。１年生入学時より発声基礎練習。朝練習週１回10～15分。清らかで澄んだ歌声が感動的である。 ・中・高一貫教育…中学３年生・高校１年生対象。数学・英語相互乗り入れ授業（県立志津川高校と町立中学校）。
栃木県栃木市	小・中学生・夢・チャレンジ事業（本市小学校15校、中学校７校）…小・中学校の児童会、生徒会から子どもたちがみんなで挑戦してみたい夢の企画を募集し、その実現を支援する。（１校30万円補助。計４校） これまでの主な企画（**・みんなの心にひびけ国庁太鼓、CD作成　・やすらぎの「竹広場」整備プロジェクト** ・市内の川へのホタル復活プロジェクト　・本物の力士を招請した相撲大会　・星空の下での映画会・音楽会　・レンゲ畑で読書会　・移動動物園の学校への１日招致）
新潟県大島村	・村おこしとして、10余年前に**「音楽村」を宣言**。また、４年前から**東京芸大生を中心に「大島村は自然の美術館」構想を推進中**。小・中学生のワークショップ、音楽発表会や音楽活動などを行っている。 ・村内に「ワキ水」が多く、小学生が卒業までに103か所を確認。毎年６年生を中心に「ワキ水探検」と子どもが命名した「標柱」を立てている。・小・中一貫のなかで「わき水」を主題にした総合活動を実施。
岡山県上齋原村	別々に設置していた幼稚園、小学校、中学校（給食センター）を同一敷地内に建設し、総合教育施設にして幼・小・中一貫教育をS.56年度にスタートした。一貫教育により異年齢間の交流による集団生活を促進し僻地性からの脱皮を図っている。教職員間の交流も年数回の研修会により意志統一を図っている。学校行事としては、代表的なものとして、11月初めの岡山教育週間との関連行事として、**300人収容の本格的な音楽ホールで幼・小・中合同の文化発表会（学習発表）を実施**し、保護者及び一般村民を迎え開かれた学校づくりをしている。
10. 学力向上対策（学力向上、基礎学力、テスト、定着など）	
山形県最上町	・小規模校同士の集合学習（20年以上継続）**・学力向上対策（20年継続）**⇒教師集団による取り組み　**・算数シートの作成**　・体育年間指導計画の作成　・社会科地域学習（３、４年）副読本作成　・英語講師として外国人町単独採用（17年目）　・学校教育と社会教育の連携強化（土曜日の学校開放事業→体育館、児童の各種体験学習）
埼玉県所沢市	**・特色ある学校づくり支援事業**…各学校の特色ある教育課程の編成と実施事業に対しての支援。　**・確かな学力定着事業**…学力調査の実施。市独自のドリル作成、配布。・教員補助配置…４時間勤務111名を全校に配置。・地球にやさしい学校づくり…学校版環境ＩＳＯの推進。・一人一芸チャレンジ事業…芸術・文化団体による学校教育への協力ボランティアの推進（休業土曜日に実施）。・歌舞伎鑑賞教室（国立劇場にて中学１年全員）。・ＡＥＴ（アシスタント・イングリッシュ･ティーチャー）中学校全校配置。・生徒教養講座（所沢市民文化センター「ミューズ」で中学２年全員がクラシック音楽鑑賞）。**・のびのび学習支援事業**…きめ細やかな支援を必要とする児童・生徒へのびのび学習支援員を派遣する。
埼玉県八潮市	１．**きめ細やかな指導の充実のために** **①学力向上フロンティアスクール事業　②少人数指導補助教員事業　③学生ボランティア補助教員事業** **④地域の人材活用事業　⑤研究委嘱助成事業** ２．国際理解教育の推進のために ①中学生海外派遣事業　②ＡＬＴ中学校全校配置 ３．他人の痛みがわかる心の教育の推進のために ①ボランティア相談員配置事業　②スクーリングジョイント事業　③サポートチーム等地域支援システムづくり推進事業　④教育相談所の充実　⑤中学生社会体験チャレンジ事業

教育委員会名	自　由　記　述　内　容
千葉県鎌ケ谷市	・**基礎学力定着度調査**（小学校全学年、中学校１、２年全員） ・中学生職場体験学習（２年生・３日間） ・キッズＩＳＯ　1400Ｓ（小学校５年生全員） ・学校支援教員（小学校１名・市費負担） ・青少年赤十字（ＪＲＣ）活動 ・小さな親切運動（小・中学校　全児童・生徒加盟）
千葉県野栄町	１．フロンティア学寮 小学校４年・５年・６年生が町の施設に宿泊し、集団生活をしながら、町の施設から学校に通学する。食事・洗濯は自分たちで行う。３泊４日実施。保護者に好評である。 ２．**サタデースクール事業** 毎週土曜日・休日の有効活用と学力の基礎・基本の定着を目的に実施。対象は小学校３年生から６年生の希望者。児童５人～６人に指導者１名を付けて実施している。教材は教科書会社より購入。現在４割の児童が参加している。
長野県大桑村	・構造改革特区第810号認定－市区町村費負担教職員任用事業 ・**小５・６年、中３の夏休み補習授業**（教委主導で民間学習塾と提携） ・**小５・６年の月２回土曜日の補習授業**（教委主導で民間学習塾と提携） ・**小、中の学力テスト**（毎年学年末） ・読み聞かせボランティア（小学校全学年） ・中学校授業前10分間読書
京都府夜久野町	１．**基礎学力の充実（SSSノートの活用などで自学自習支援策の実施等）…公費による漢字、英語検定（小・中）** ２．国際理解教育の推進…英語活動の展開、小中連携による英語学習の推進（ＡＥＴ・ＣＴＥＴ等） ３．情報教育の充実…PC１人１台・校内ＬＡＮ整備、社会人講師の導入（小学校）による指導、小学校１年生よりローマ字入力で指導（ワード）、教科学習への活用 ４．社会、自然などの体験活動の推進（地域社会のなかで学習する“夜久野学”（小）米つくりを移植から食品加工・試食までの栽培（小）地域の事業所・福祉施設での体験〔３～４日間〕）
11. スポーツ、体育（健康、スポーツ、体育など）	
岐阜県川辺町	１．・**マリーン・スポーツの体験学習** ・町内３小学校の５・６年生全員を対象に**カヌー体験学習の実施** ・中学校１年生全員を対象に**ボート（ナックル・フォアー艇）体験学習** ２．町の教育総合計画「あらたまプラン」の実践のひとつとして毎年11月第１土曜日を「あらたまの日」として全町民を対象に学校を終日公開。 ３．土曜教室（小学校対象）…毎月第２、第４土曜日、学校を開放し自主的学習の習慣づくりのための教室の開催。
12. 道徳教育（道徳、あいさつ、しつけ、社会性など）	
栃木県河内町	１．**「心の教育」の実践としての「あいさつ（G）・清掃（C）・読書（R）」の活動の推進** ２．**自問教育（自問清掃）の推進** ①他律から自立（自律）へ－「やらせられる」から「自らやる」へ。 ②「清掃」を心を高める道徳実践と位置付け、黙って清掃するなかで、常に「がまんの心、粘る心、感謝の心」はどうか、自らに問いながら、自らの力－自主と自立（自律）－で、心と技を育てている。 ３．教育長の出前講座 夏休み中等に管下９校の小・中学校に赴き、学校の希望する「テーマ」を中心に、道徳教育・生徒指導等の講話と意見の交換をし、教職員の資質の向上と相互の心の交流を図り、成果を上げている。
埼玉県入間市	特色ある教育の推進－（狭山茶とふれあう教育）（地域に根ざした教育の推進） １．地場産業「狭山茶」を活かした教育活動を推進し、それらを通じて郷土への関心・理解を深めながら、郷土愛の育成を図る。 ２．**「茶の心」を様々な体験学習を通じて理解させながら、児童・生徒一人一人に道徳的心情を培い、豊かな人間性の育成を図る。** （具体的方策）　小・中学校における体験学習の推進 ・茶摘み・手もみ茶づくり、製茶・茶道教室開設、茶席体験、茶の博物館の見学等（入間市博物館）。 ・中学校に茶室を設けている。
愛知県名古屋市	・全児童対策事業として、**トワイライトスクール（放課後学級）を実施**。学校施設を活用して、放課後などに異学年交流や地域の人々とふれあうことにより、子どもたちの自主性、社会性、創造性を育む事業です。 ・中学生による「夢チャレンジ事業」を実施。生徒会を中心に、生徒たち自身が企画した「夢チャレンジ」を募集。そのなかから実施可能な企画10校に対し、70万円ずつ経費の支援を行い、生徒による楽しい充実した学校生活づくりの一助にする事業です。
岡山県瀧崎町	平成12年９月　瀧崎町議会により決議。 **「親父も頑張るぞ!!　子供の健全育成推進の町」**宣言をする。町内数か所に啓発塔を建て、呼びかけを行っている。 主旨：すべての親は、家庭において、子供を社会に適応できる人間に育てる義務と責任がある。特に、父親の存在感が薄れている現在、家庭における道徳教育と正義感の育成を強く求めるものである。本町議会は青少年健全育成の原点は家庭にあり、父親の力も不可欠であることを強く訴え宣言する。